産業廃棄物の一連の処理の行程（令和5年4月～令和6年3月）

受入

【石綿含有廃棄物】

廃プラスティック	0.5 t
ガラス陶磁器くず	0.01 t
がれき類	0.03 t

（処分）

【破砕対象廃棄物】（破砕）

廃プラスチック類	129.8 t
紙くず	57.6 t
木くず	103.4 t
ガラス・陶磁器くず	47.1 t
混合廃棄物	96.2 t
がれき類	25.1 t
金属くず・廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類・ｶﾞﾗｽ陶磁器くず（水銀使用製品産業廃棄物	4.3 t

【切断・破砕対象廃棄物】（切断 /破砕2023.7～）

金属くず	1567.4 t

【石綿含有廃棄物】

A社（最終処分場へ埋立処分）

0.58 t

B社（管理型処分場へ埋立）

ガラス陶磁器くず 32.3 t

C社（再生・焙焼・埋立） 2023.7～

金属くず・廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類・ｶﾞﾗｽ陶磁器くず（水銀使用製品産業廃棄物） 3.4 t

D社（再生・埋立）

混合廃棄物 112.3 t

（再資源化外部委託）

E社（RDF原料として再生） 2023.7～

廃プラスチック類 64.3 t

F社（製品原料として再生）

がれき類 2023.7～ 25.1 t

G社（製品原料として再生）

ガラス陶磁器くず 22.7 t

H社（チップとして再生）

木くず 117.1 t

I社（製紙原料として再生）

紙くず 50.1 t

J社（金属原料として利用）

金属くず 1600.1 t

処分業受入量 2,030.8 t

期首保管量（令和5年4月初時点） 144.2 t

期末保管量（令和6年3月末時点） 147.0 t

持出量 2,028.0 t

令和6年4月1日 現在